

国民スポーツ大会（体操競技）岡山県代表選手・監督の選考基準について

岡山県体操協会

1 国民スポーツ大会参加資格

- ・「国民スポーツ大会実施要項総則」に定められた、「参加資格」、「所属都道府県(岡山県)」、「選手の年齢基準」の全てを満たす者
- ・当該年度の公益財団法人日本体操協会に選手・指導者（役員・審判）登録を完了している者

2 選考期間及び選考大会

毎年度4月1日から7月31日の期間内に実施する「国民スポーツ大会(体操競技)岡山県予選会」（以下、予選会）とする。

3 選考人数

国民スポーツ大会(体操競技)及び国民スポーツ大会中国ブロック大会(体操競技)実施要項で定められた各種別の選手・監督の人数及び予備登録選手(交代選手)2名を選考する。

4 選考基準

選手：

【体操競技 少年の部男女】

予選会の成績（個人総合）上位6名と本協会推薦による2名までを代表候補選手とし、本大会において入賞が期待できる選手の組み合わせを総合的に判断し、岡山県体操協会の行動規範を遵守できる選手を選考する。

【体操競技 成年の部男女】

当該年度ふるさと選手登録を完了した者で、直近の大会（東西日本インカレ等）における成績に基づき、本大会において入賞が期待できる選手の組み合わせを総合的に判断し、岡山県体操協会の行動規範を遵守できる選手を選考する。

【新体操】

予選会で優勝したチームの選手を中心に選考を行うが、予選会及び選考会の参加選手の中から、ブロック大会を突破し、本大会において入賞が期待できる選手の組み合わせを、総合的に判断し、岡山県体操協会の行動規範を遵守できる選手を選考する。

【トランポリン】

予選会での成績上位者男女各2名を代表候補選手とし、ブロック大会を突破し、本大会において入賞が期待できる選手を総合的に判断し、岡山県体操協会の行動規範を遵守できる選手を選考する。

監督：

予選会で優勝したチームの監督とする。また異なる所属選手で編成する場合は、別途協議する。

ただし、該当者が公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認コーチ資格を有していない場合は、予選会確認会議において資格を有している者の中から選考する。

5 選考の方法

選考期間終了後、速やかに岡山県体操協会強化委員会において、選考基準を満たした選手・監督の中から総合的に判断し、選考することとする。

6 予選会免除者

公益財団法人日本スポーツ協会が定める「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」に該当する者。

(これに該当する者は、県予選会や選考会（ブロック大会を含む）への参加が免除となる。)

7 選考基準の周知について

本選考基準については、予選会実施要項において明記する。

なお、自然災害等の不測の事態が生じ、選考期間内に予選会が開催不可能となり、選考基準などに変更が生じた場合は、強化委員会において、新たな選考基準を策定し、速やかに関係者へ通知することとする。

8 選考結果について

予選会の確認会議終了後、館内放送により発表する。

9 代表選手・監督の決定について

岡山県体操協会が選考した者の中から、公益財団法人岡山県スポーツ協会会長が、岡山県選手団としての誇りと自覚を持ち、社会的な規範を遵守できる者を代表として決定する。

10 この選考基準の改廃は、岡山県体操協会理事会の議を経て行うものとする。

附 則

この選考基準は、令和3年4月1日より適用する。

令和6年4月1日より、大会名変更（国民スポーツ大会）により、文中の大会名も変更している。